

# 現場視察 レポート



議員インターン生による  
視察報告です。

## PICK UP 1

日本赤十字社 愛知県赤十字血液センター



視察記念パネル



血液センター

2月定例会でひび市議が行った個人質問についてのお話を伺って来ました。血液センターでは献血の意義深さや、献血後の血液の使い方等を視察しました。1Fフロアでは実際に献血を行う事ができ、自分たちの血液が誰かの命を救える、という事を学びました。

## PICK UP 2

インターン合宿 @ ささゆりクリーンパーク  
エコサイクルプラザ



政策発表の様子



政策立案

可児市のささゆりクリーンパークでは、私達の出すゴミがどう処理されていくのかを視察後、他の議員インターンと共に政策立案の中間発表。さまざまな気づきやひらめきを得ました。チームで考えて意見を話し合う事の大切さや、伝える事の難しさを学びました。

## インターンシップをおえて

実際に現場を見て、現状を知ることの大切さを学びました。新たな発見があり、さらにその物事について深く考えることができます。今回の経験は、これからの人生の財産となりました。

愛知淑徳大学1年 S.M.さん

障害を持った方が働いている就労施設や献血センターなど様々な施設を視察しました。また議会を傍聴したり講演会を聞いたりと議員インターンならではの経験はとても勉強になりました。

中京大学2年 M.S.さん

政治に全く興味がなく、わからないことばかりから始まった活動でしたが、さまざまな視察に同行させていただいたりして本当に多くのことを学び、自分の視野を広げることができました。

愛知淑徳大学2年 N.M.さん

議会傍聴や政治家の方々の話を通じて、政治は私たちにとても身近なことだということがわかり、イメージが変わりました。これをきっかけに、もっと政治について知りたいです。

中京大学2年 A.K.さん

## ひび美咲 プロフィール

昭和60年生まれ33歳。千葉県船橋市生まれ。高等学校を卒業後、親日国といわれる台湾文化を学ぶため、台湾の国立台湾師範大学国語数学センターへ留学。現地の商業施設室内デザイン設計会社「日台設計」へ入社。通訳のボランティアを通じて、前市会議員 ひび健太郎と知り合い、のちに結婚。平成28年11月、ひび健太郎が急性白血病で急逝。同年12月の名東区補欠選挙で初当選。現一期目。1歳の息子の育児と仕事に、日々奮闘中。モットーは「困難に直面した時や、辛い時こそ笑顔」

ひび美咲 事務所 〒465-0025 名古屋市名東区上社1-402 柴昭ビル1E  
TEL : 052-777-3193 FAX : 052-777-7330 Email hibikenoffice@hibiken.com

平日 午前10時～午後5時まで <https://www.facebook.com/hibi.misaki/> <https://www.instagram.com/misaki.hibi/>

名古屋市議員

財政福祉委員会 委員 / 防災・エネルギー対策特別委員会 委員



# ひび美咲 名古屋市会 PRESS

2018

初夏号

地域の皆さまのお困りごとに、国・県・市で連携し、ワンストップサービスでお応えします。



衆議院議員 古川元久



愛知県議会議員 富田昭雄



名古屋市議員 ひび美咲



## 「想いをつなぐ」私の5つのお約束



1 子ども達の学び・育ちを、政治の力で支えます。

待機児童対策について、賃貸型保育所に関する個人質問を行い、前向きな答弁を引き出しました。

3 骨髄バンクの普及啓発と、患者や家族を支える環境を整えます。

平成29年度より骨髄バンクドナー等助成金交付事業制度が開始しました。高校生に対して、骨髄バンクドナー登録への啓発事業が行われています。(クリアファイル配布・ポスター・映画のCM等)

5 出来る事、出来ない事を正直に提案する政治を実現します。

B6型蒸気機関車に関して、当局や市長に対し、市税の使い方について質しました。

名古屋市議員になって一年。私が皆様にお約束した政策の進捗をご報告します。

2 敬老パスを堅持し、利用拡大を目指します。

健康福祉局に対し、委員として提案をしました。平成30年度からは名鉄の一部で利用拡大されます。

4 市民のいのちと生活を守り、将来世代につなげます。

非常食活用法に関して、「ローリングストック法」の推進について提案し、名東区の防災訓練で実施されました。また「広報なごや」や名古屋市HPに防災レシピ等が掲載されました。

一歩一歩、想いをカタチに。





# 11月定例議会

# 議会だより 一般質問を行いました

# 2月定例議会

## 「医療用ウィッグの購入助成」について

**ひび美咲** 抗がん剤治療の副作用などによる頭髪の脱毛に悩むがん患者さんの社会参加を後押しし、安心して治療に専念できるよう、医療用ウィッグ購入費用の助成について、導入するお考えはないかお尋ねする。

**健康福祉局長** 医療用ウィッグの購入費助成は、がん患者の身体的・精神的な負担などを和らげるもので重要な視点である。制度の導入に向け、補助基準額の設定、対象疾患、対象用具、ニーズなどについて課題を整理し、当事者の意見も聞きながら前向きに検討したい。



**医療用ウィッグ購入助成金検討**  
市は、抗がん剤治療の副作用による脱毛などに悩む人たちが、医療用ウィッグ(かつら)を購入する際に補助金を支給する制度導入を検討する意向を示した。日比美咲議員(民進)の質問に答えた。ウィッグは美容目的とされ、医療保険や医療費控除の対象外で、公的な助成がない。市によると、ウィッグは一万〜数十万円ほどで、がん治療しながら働く患者にとって負担になっている。

日比議員が「がん治療に伴う外見の変化は大きな悩み」と指摘し、ウィッグ購入費の助成について考えをたずねた。杉山勝・健康福祉局長は「前向きに検討したい」と答弁した。今後、補助額や対象疾患などを整理し、当事者の意見も聞き取る方針という。

平成29年11月30日 中日新聞

## コンビニにおける成人雑誌の取り扱い

**ひび美咲** 24時間誰もが利用できるコンビニにおいて、インバウンドの観点や健全な青年育成の観点からも、成人雑誌の取り扱いについては、何よりも子どもたちへの配慮が必要だと考えます。他都市の成人雑誌における先進的な取り組みをふまえ、本市としての今後の対応についてお尋ねする。

**子ども青少年局長** 先行事例の調査や、関係業界の聴取と併せ、市民の意識をふまえる必要がある。市の取り組みとして、どのような事が可能か、よく検討したい。



### コンビニの成人雑誌の取り扱い

**「先行事例調査 市民意識踏まえる」**  
一部のコンビニが成人向け雑誌の販売中止を打ち出し、取り扱いが話題になる中、日比美咲議員(民進)が市の対応をたずねた。

コンビニの成人誌販売中止は「ミニストップ」が来月から千葉市内で先行実施し、来年一月には

全国で始める。堺市では「配慮が必須だ」と心配する声を聞く。指摘すると、伊東恵美子副市長は「先行事例の調査、関係業界の聴取と併せ、市民の意識を踏まえる必要がある」といった批判もあつた。

日比議員が「子どもたちへの配慮が必須だ」と心配する声を聞く。指摘すると、伊東恵美子副市長は「先行事例の調査、関係業界の聴取と併せ、市民の意識を踏まえる必要がある」といった批判もあつた。

平成29年11月30日 中日新聞

## 命のリレー～学校における献血事業の啓発～

**ひび美咲** 近年もっとも懸念をされているのが10代20代の若年層の献血離れだ。16歳になる前の中学生に対して献血セミナーを活用するなどして献血を意識させる啓発をすすめるべきだと考える。実際献血の出来る高校生に対して、学校で献血を行う等のお考えはないかお伺いする。

**健康福祉局長** 中学生のうちから献血の必要性や現状を知り、献血が多く命を救うことを理解するのは大切だと考える。日本赤十字社による献血セミナーはいい機会だと思うので、事業内容について中学校へ周知していく。また、高校生に対しては、学園祭などの機会を利用して献血体験ができるよう努めていく。



市科学館(中区)に展示され、現在は車庫調査中の蒸気機関車(SL)写真(2016年9月撮影)について、河村たかし市長は「早いとこ走らせるようにする」と述べ、あおなみ線での本



格運行を目指す考えをあらためて示した。日比美咲議員(民進)の質問に答えた。

ドイツ製のB6形SLは同館に展示されてきたが、二〇一六年九月から大阪市の工場へ運ばれ、保管料として二百万円を

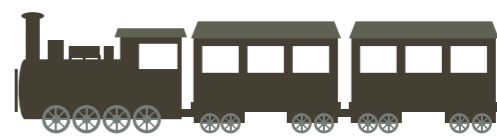
を受けている。市教委は調査後、車輪部分を動かして同館に展示したい意向で、市長の考えとは隔りがあつた。新年度当初予算案の協議でも結論は出さなかったが、河村市長は「新年度には結論を出す」と述べた。

## B6型蒸気機関車の動態展示と鉄道を活用した都市魅力向上策の現状について

**ひび美咲** 河村市長の「SLを走らせたい」との夢に、名古屋市の予算が平成24年度から本年度にかけておよそ1億4000万円使われている。一昨年まで名古屋市科学館に展示をしてあつたドイツ製B6型蒸気機関車が解体されて、現在は大阪の工場に保管されているが、なぜ一年以上放置されているのか?

**ひび美咲** また、そのB6型蒸気機関車に対し年間300万円の保管料が平成29年度以降かかっている。いつまでに何をすれば保管料を計上しているのか、平成29年度に結論を出すべきではなかったのか。

**河村市長** 平成30年度には結論を出す。



平成30年3月8日 中日新聞



議員インターン生が活動中に  
出合った議会用語を  
ピックアップして解説します。

**1 一般質問**  
議員が市の一般事務に対してその執行の状況、又は将来の方針、政策的提言や行政の課題などを執行者に直接質すことです。地域で住民生活に密着している事項など多岐にわたっています。

**2 常任委員会**  
議案は全て本会議で決定しますが、市の仕事は非常に幅広く、内容も複雑。そこで、本会議の予備審査的な機関として、少人数の議員で構成されるものを常任委員会といいます。

**3 議会傍聴/委員会傍聴**  
本会議の当日に傍聴券交付申請手続きを行えば、誰でも議会や委員会を傍聴することができます。

**4 一般会計**  
福祉、教育、土木、経済など、市政の基本的な施策にかかる経費の合計のことで、市税などが主な財源となっています。

**5 新政あいち**  
2月3日に設立。愛知県民進党系地方議員による政治団体。民進の愛知県議や名古屋市議、その他の県内の現職地方議員ら95人が入会。県内の民進党地方議員が中心となつてつきたネットワーク「自治体政策フォーラム・愛知」を母体としています。